

音楽文化の振興に貢献しています

音楽を通して広がる豊かで潤いのある社会を目指して、また、日本の音楽文化を育てるため、カワイは、さまざまな音楽活動や文化活動を行っています。人々の心に感動の輪を広げたい。カワイの願いは着実に実を結んでいます。

次世代を担うピアニストを育成しています

Shigeru Kawai 国際ピアノコンクールの開催

Shigeru Kawai 国際ピアノコンクールは 2017 年の当社創立 90 周年を記念して、次世代を担うピアニストの発掘・育成、国際交流の推進、ならびに世界の音楽文化の振興を目的として創設しました。

近年多くの著名コンクールで公式ピアノとして活躍する、Shigeru Kawai グランドピアノの名を冠した当コンクールですが、2018 年開催の第 2 回では、世界 17 の国と地域から 239 名という多くの皆さまにご出場いただき、栄えある第 1 位にはアンドレイ・シチコさんが輝きました。

当コンクールは、2019 年 3 月より第 3 回目の開催を迎え、7 月には厳しい審査を通過した 58 名が東京に集結し、1 次予選、セミファイナル、ファイナルと審査を進めてまいります。

浜松国際ピアノコンクールへの協力

1991 年に浜松市制 80 周年を記念して、楽器と音楽のまちとしての歴史と伝統を誇るにふさわしい国際的文化事業としてスタートし、以後 3 年毎に開催しています。世界を目指す多くの若いピアニストに日頃の研鑽の成果を披露する場の提供と彼らの育成、世界の音楽文化の振興、国際交流の推進を目的としています。

当コンクールに対しては公式ピアノ、練習用ピアノや練習会場の提供等、ピアニストが万全の態勢で演奏ができるように協力しています。

また、コンクール開催期間中には出場者によるホームコンサートも開催するなど地域文化振興にも貢献しています。

2018 年開催の第 10 回コンクールではフルコンサートピアノ『SK-EX』を使用したトルコのジャン・チャクムルさんが優勝しました。



入賞者との集合写真



表彰を受けるジャン・チャクムルさん



アンドレイ・シチコさんの演奏の様子



ジャン・チャクムルさんの演奏の様子

音楽文化の普及に取り組んでいます

カワイ音楽振興会

カワイ音楽振興会は日本の音楽文化の向上をめざして、1963年に設立されました。「カワイコンサート」の開催をはじめ、海外著名演奏家や音楽教育家の招聘事業、国内一流音楽家のリサイタル・公開講座など多彩な催しを企画実施しています。

また、音楽を通して広がる豊かで潤いのある社会を目指し、さまざまな音楽活動や文化活動の支援を行なっています。

これからも、“Music for All”の理念のもと、様々な活動を通じてすべての人々に良質な音楽を提供していきます。

多彩なコンサートや公開講座情報を掲載している「カワイ音楽振興会サイト」をご参照ください。

<http://kawai-kmf.com/>

カワイコンサート

1971年に日本中の人々に良い音楽をというポリシーのもとスタートしたカワイコンサートは発足以来これまでに2250回を超える公演を行ってきました。国際的なピアニストから新進気鋭の若手演奏家まで多彩な演奏家を招いています。カワイコンサートにはカワイ音楽教室の生徒の皆さまや講師の方々にもご来場いただき、感性の向上なども図っています。また、全国各地で開催することにより地域の音楽文化の更なる発展にも貢献しています。

このカワイコンサートの過去から直近の情報につきましては、カワイ音楽振興会サイトをご参照ください。



東日本大震災復興支援チャリティーコンサート2019

2019年3月10、11日に、仙台・東京・横浜・名古屋・大阪の5会場で、『東日本大震災 被災地復興支援チャリティーコンサート』が開催されました。

大震災から8年がたちましたが、カワイグループでは、音楽を通じて支援活動を継続しています。当初はピアノを東北に寄贈していましたが、現在では宮城県沿岸部での海岸防災林植樹活動を支援しています。

今年もそれぞれのコンサート会場で、第一線で活躍されているピアニストの方々にご協力をいただき、大盛況にチャリティーコンサートを開催することができました。会場ではチャリティー募金も実施されコンサート収益金と合わせてカワイの森育成会に寄付されました。寄付されたお金につきましては、2019年5月11日に仙台市若林区で実施しました海岸防災林再生支援植樹「カワイの森植樹会」に使用させていただきました。



各種音楽団体を支援し共に音楽文化の普及に取り組んでいます

日本ショパン協会への支援

日本ショパン協会は、1960年8月、フレデリック・ショパン生誕150年を記念して設立されました。初代会長は高折宮次先生で、高折先生と交流のあった河合滋社長(当時)が名誉会長となり、事務局を河合楽器製作所内に設置して、その活動をスタートしました。

以後年に数回の演奏会や公開講座の例会、1980年以降5年毎のショパン国際ピアノコンクールへの参加者オーディション、2005年以降は5年毎に日本ショパンピアノコンクール、2010年以降は毎年ショパン・フェスティバル in 表参道などを開催しています。また、1974年以降、年間最も優れたショパン作品を演奏したピアニストに対し「日本ショパン協会賞」を贈呈するなど、ショパンとその芸術の普及のために活発な活動を行っています。

<http://chopin-society-japan.com/>

クロイツァー記念会への支援

クロイツァー記念会は、ドイツと日本で活躍したレオニード・クロイツァー教授の遺徳をしのぶ門下生および関係者により1962年3月、高折宮次氏を会長に設立されました。日本のピアノ音楽界発展のために尽くすという設立主旨に沿って諸事業を行っています。

1971年より、クロイツァー教授の日本楽界に対する功績を記念して「クロイツァー賞」を制定し、教授が生前教鞭をとった「東京芸術大学」、「国立音楽大学」、及びゆかりの深かった「武蔵野音楽大学」の各大学院ピアノ専攻修生の中から、特に優れた成績をおさめた人に賞を贈呈しています。

またこの受賞者を対象とした「クロイツァー賞受賞者演奏会」を1976年より毎年開催するほか、ショパン=クロイツァー校訂版楽譜(音楽之友社刊)の出版に協力しています。(現在は、楽譜配信サイト『@ ELISE (アット・エリーゼ)』よりダウンロード販売されています。)

<http://kawai-kmf.com/kreutzer/>

日本・ロシア音楽家協会への支援

1984年、日ソ音楽家協会の名で、当時のソ連作曲家同盟議長のティホン・フレンニコフ氏と初代運営委員長故芥川也寸志氏の親交から、両国の音楽作品の交換演奏を中心とする音楽文化交流を目的に発足しました。その後、ソ連の崩壊により『日本・ロシア音楽家協会』と名称を変更。新生ロシアと旧ソ連邦諸国との新たな交流活動に入りました。

ロシアとの文化交流コンサートを開催するほか、声楽・器楽のコンサートなどを定期開催しています。

<http://japan-russia-sfm.net/>

日本シマノフスキ協会への支援

日本シマノフスキ協会は、1981年、カロル・シマノフスキ生誕100年を記念して設立されました。

シマノフスキがポーランドを代表する作曲家としてショパンと並び称されるには、いくつかの理由がありますが、最大の理由は、彼の後期の作品がポーランドの山岳地帯の古い形の民謡をもとに傑作を生み出したことによるものです。ポーランド人の民族性、土俗性が表現された深い味わいがあるシマノフスキ作品を日本国内に広める活動を行っています。オーディション形式のフレッシュ・コンサートや、例会としてコンサートや公開講座等を開催しています。

<http://kawai-kmf.com/szymanowski/>



ショパン
フェスティバル



クロイツァー賞
受賞者演奏会



ロシア民謡
フェスティバル



日本シマノフスキ協会

海外での音楽文化の普及に取り組んでいます

中国での音楽文化の普及

中国においては中日友好コンサートなどの開催や中国（上海）国際楽器展覧会への出展などを通して音楽文化の普及を積極的に進めています。また、調律師の育成活動の一環として、中国の調律技術者を本社に招き、調律技術の継承を図っています。



西双版纳（シーサンパンナ）中日友好コンサート



中日友好新年音乐会



中国（上海）国際楽器展覧会



技術指導を受ける中国の調律技術者の皆さん

新興国での音楽文化の普及

現地教育者の人財育成を推進し、各国での音楽文化並びに音楽教育の普及に努めています。



マレーシア



ベトナム



インドネシア



タイ